

# 令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【東宮下小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	【学習上の課題】漢字や計算問題において、正答数が半数に満たない。 【指導上の課題】児童が反復・習熟に取り組む時間の設定が不十分である。	⇒ドリルパークやミニミニスト等を活用し、漢字や基本的な計算等の反復・習熟に取り組む【毎授業開始時の実施】。その際、児童の学習履歴を確認し、目に見える形で掲示し、学習の伸びが実感できるようにする。【月に1度の実施】。授業中に児童が自らの学びを振り返る時間を設定し、次の学びに生かせるようにする。【毎時間設定】。また、振り返りをかまえ、授業において、児童とともに必要感のある課題を設定したり、児童が主体的に課題を解決したりする場を設定する【毎授業10分実施】。
思考・判断・表現	【学習上の課題】国語・算数の「思考・判断・表現」の記述式問題の無解答率が高い。 【指導上の課題】児童が自己表現する過程を教師が十分に評価できていない。	⇒児童が作品、ノート、ワークシート等に取り組む際、評価の観点を明確に示し、児童が思考したプロセスにコメントや花丸等を付記して、評価する。【毎回実施】。活動の中に共同編集を位置付け、協働的な学びを通して考えたり、表現しようとしていくことができるようにする【R6年度さいたま市学習状況調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合が90%以上】。

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		結果提供(2月)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現	結果提供(7月)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現	中間評価(9月) 目標・策の見直し	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)